

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 22 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, and 法令根拠. Includes details for '公民館分館維持管理事業' and '生涯学習・芸術文化活動の推進'.

Table (1) 事務事業の概要. Includes ①事務事業の概要 (事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順.

Table (2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移. Includes ①手段, ②対象, and ③意図 with various performance indicators like '維持管理委託件数' and '提供面積'.

Table (3) 投入量 (事業費) の推移. Includes columns for 29年度, 30年度, 01年度, and 期間限定総投入量. Lists items like 国庫支出金, 県支出金, etc.

Table for 事業費の内訳. Compares 30年度事業費実績 (千円) and 01年度事業費予算 (千円) with items like 報償費, 需用費, etc.

Table (4) 当該年度の実施内容. Includes 01年度, 02年度, and 03年度の事業内容. Includes a list of main activities like '市長マニフェスト' and '合併建設計画事業'.

事務事業名	公民館分館維持管理事業	事務事業No.	20203000637	所属課	生涯学習課
-------	-------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 真壁町に合併前の旧町村に公民館分館として建設され、維持管理が始まった。平成26年10月より使用料適正化に関する条例の施行に伴って、使用料の改正及び徴収が行われる。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 使用申請に、真壁伝承館まで行くのが面倒である。 料金を徴収することはいいことだ。利用団体による減免規定に対し不満がある。 市内福祉関係事業者より谷貝分館の借り上げ申請があった。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 施設使用申請を真壁伝承館で行うことで、利用者から不満が出ており、利便性の向上に関する検討が必要。	
現状維持	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 施設の維持管理を行うことで、市民に対し快適な生涯学習活動の場を提供することができ、公民館事業の促進が図られる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 地域住民の生涯学習活動・コミュニケーションの場として必要である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 施設の老朽化が進んでおり、修繕等により現状を何とか維持している状況であるため、成果向上は期待しがたい。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 地域住民の生涯学習活動に影響がある。廃止には代替の集会施設等を確保する必要がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる 維持・修繕等費用や、他地区は地区公民館が地区の自主運営である現状からすると、3分館のみ市が運営している状況については他地区からは理解を得られない可能性がある。地区に施設を譲渡するなどにより廃止できる可能性はある。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 施設の維持管理上、最低限の予算であり削減は難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 平成26年10月より利用団体より使用料を負担していただいていることから、公正・公平に費用負担がされている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	施設の老朽化に伴い、修繕費が多くなってきている。 30年度は3分館全てにおいて老朽化等による雨漏りが発生し修繕を行ったが、利用状況や費用対効果の面から応急的な修繕対応しかできていない。																							
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○				低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持	○																							
	低下																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 度重なる修繕が発生していることから、今後は地区へ譲渡し、地元による管理をお願いするなどの手段により、分館のあり方を検討していく。																									
(6) 事務事業優先度評価結果																									
成果優先度評価結果		⑧																							
コスト削減優先度評価結果																									

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> A B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>